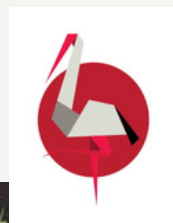


社会福祉法人 福田会 週次報告書

2022年7月5日 / Vol. 008



6月27日(月)～7月3日(日)の支援活動

支援所への支援物資提供

レストランプロジェクト

食材支援

ウクライナからの避難民学生が
滞在する学生寮訪問



ご支援総額

2022年6月28日までの寄付総額 93,166,638 円

寄付金使用総額 1004854.37 zł (2,914万円)

6/27(月)～7/3(日)の期間中の寄附金使用額

58913.91 zł(約170万円)

レストランクーポンにナンバリングをする
スタッフ。

利用者がどの配布場所で受け取ったか分かる
よう、ナンバーと配布場所を記入してい
る。



活動内容

支援所への支援物資提供

週に3回支援物資の買い出し支援を行っているカリタス支援所は、6月末で閉鎖とされていたが、期限が1か月延長され、7月末までの運営となった。

その為、引き続き週に3回の買い出し支援を行い、赤ちゃん用ミルク・トイレットペーパー・おむつ等を購入した。



レストランプロジェクト

1週間で約1,450食を提供。

協力店4店舗のうち、クラクフ中央駅外テントに毎日100食デリバリーを依頼していた店舗は、テントの運営終了に伴いプロジェクトを終了した。

現在クーポンはシェルターと託児所に配布しており、利用者と現地ボランティアから画期的な支援だ、と喜ばれている。



食材支援

19家族に1週間分の昼食用食材を提供。

一人 50 zł (約1,450円) の予算を設け、1807.36 zł (約52,000円)分の食材を購入。

単価の低いハムやチーズ、パンを購入する方が多く、サンドイッチにして食べるのだという。





活動内容

ウクライナからの避難民学生が滞在する学生寮訪問

現地ボランティアより相談を受け、ウクライナから避難している46人の学生（12歳～18歳）が滞在する学生寮を訪問。

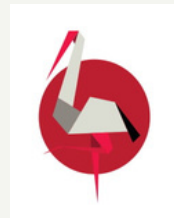
学校が夏休みに入り、寮や学校で提供されていた食事がなくなってしまった為、学生たちの食べるものがないという。

キッチンにはわずかなパスタしか残っておらず、46人分の食材の在庫がなかったため、希望者を募り、食材支援を実施。

パン・ハム・チーズ・バター・ジュース・アイス等を購入した。

避難民学生たちはスーパーで好きなものを購入する機会が減らないため、商品を自分で選んで購入出来る事をととても喜んでいた。





現地の動向

国境警備隊によると、ポーランドに流入したウクライナ避難民の数は約448万人に及び、ポーランドからウクライナ国内へと出発した人の数は253万人とされている。(7月2日時点)

ポーランドは記録的な暑さが続いており、クラクフ都市部でも37℃を記録した。

暑さの影響か、支援物資を提供しているカリタス支援所には、多くの避難民が水を求めにやってきており、買っても買ってもすぐに無くなってしまおうという。

また、2月の侵攻以降、クラクフ中央駅外に設置されていた支援テントは6月末で運営を終了し、撤去作業が行われた。

これまで同テントで衣食住の提供を受けていた避難民は、新たな支援先を求め、各地に移動して行った。

